

地区だより

…………… 令和5年9月1日発行

# ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,854人 女 20,340人  
計 39,194人  
世帯数：20,905世帯  
(8月1日現在)

2023

9月号

## 市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎525-3710 ☎536-9828

### 個性と魅力あふれる地域を目指します

#### ～ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会(中央東地区)を開催～

地域の活動指針として策定した「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進し、中央東地区が個性と魅力あふれる地域となることを目指して、懇談会を開催しました。

中央東地区の5つの方部から、地域で活躍している方々が集まり、懇談会が主催する事業の方針や、地域コミュニティ等支援事業(市補助金)の活用を予定する団体の事業内容の確認などを行いました。

■問/地域共創課 ☎525-3731



▲7月21日にキョウワグループ・テルサホールで開催した第1回懇談会

#### 懇談会の主催事業 ～花によるおもてなし事業～

例年当懇談会の主催事業として実施している「花によるおもてなし事業」は、今年度も開催予定です。

花によるおもてなし事業は、来訪する方をきれいな花で出迎えるため、市民ボランティアの皆さんと協力しながら、プランターへ花の植栽を行い、レンガ通りや駅前通り沿いの事業所の皆さんに、プランターの管理をお願いする事業です。



▲昨年度開催の様子

※中央西地区の懇談会は8月に開催しました。  
開催結果は、地区だより10月号でお知らせ予定です。

#### 活用予定の事業(地域コミュニティ支援事業)

活用を希望する団体	事業名	内容
第一方部民生児童委員協議会	民生委員活動PR事業	・広報用チラシの配布 ・主に高齢者宅への訪問活動
福島市消費者団体懇談会	植栽事業	・プランターへの花苗植栽と管理
新浜町会	子どもの見守り活動	・児童、生徒の帰宅時間帯に交差点での見守り活動
御山町町会	地域の魅力再発見事業	・親子を対象に信夫山散策と会社見学

地域コミュニティ等支援事業は地域内の各団体に広く活用されています。  
上記以外に活用を予定している事業についても、当該懇談会の承認を受けたのちお知らせします。

## 地区内の工事情報

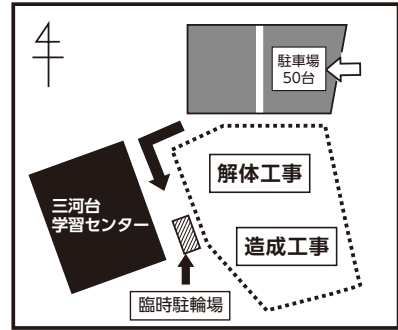
工事箇所	路線名	工事種別	予定工期		備考	担当課
			着工	完了		
御山町外地内	市道 太平寺・山口線	道路改良工事	令和5年 9月下旬	令和6年 3月下旬	午前9時～午後5時 車両車線規制および 一部車両通行止め	道路建設課
五老内町地内	市道 浜田町・春日町線	道路改良工事	令和5年 9月下旬	令和6年 3月下旬	午前9時～午後5時 幅員減少	道路建設課

# 三河台学習センターからのお知らせ

【編集】福島市三河台学習センター  
〒960-8055 福島市野田町七丁目1番42号  
☎533-8330 ㊟533-8331

## 臨時駐車場の出入口を変更しました

臨時駐車場については、先月の地区だより8月号でお伝えしたところですが、地図のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。



## 「第40回 三河台地区文化祭」開催のお知らせ

◆と き：10月14日(土)・15日(日)

◆と ころ：三河台学習センター

新館になって初めての三河台地区文化祭を開催します。三河台学習センターで活動している団体・サークルのみなさんの作品展示や児童生徒のみなさんの作品を展示する予定です。今回は、芸能発表会なども実施予定ですが、詳細な内容は、来月配布のチラシ等でご確認いただくか、学習センターまでお問い合わせください。

## シニア向けスマートフォン利活用支援講座(スマホ活用講座)

日常生活に役立つスマートフォンの活用について学ぶ講座を開催します。サポーターがきめ細かくサポートしますので、お気軽にご参加ください。

■日 時 9月27日(水) 13:30~15:00

■内 容 マップを使ったナビゲーションの使い方(地図アプリのルート検索機能など)

■場 所 三河台学習センター

■講 師 ドコモショップのスタッフ

■定 員 10人(先着順)

■対 象 市内居住の高齢者の方でスマホの基本操作ができる方

■申 込 オンライン(右記QRより)又は  
コールセンター 090-1373-1667

090-1373-1668へ電話

■その他 ご自身のスマホ



## ファミリー教室 後期学級生募集!!

幼稚園や学校では体験できない、いろいろなものを家族で協力して作って楽しみませんか。ぜひ、家族全員での参加をお待ちしています!どうぞ、お気軽に申し込みください!!

●対象者：2歳以上の幼児~小学1・2年生とその家族(父親、母親、祖父母等)※子どもだけでは参加できません。

●定 員：10組20名程度(1組4名まで)※定員になり次第締め切り

●参加費：1家族 500円(保険・通信資料代等)  
※材料費はそのつど集金します。

●申込み：10月2日(月)から13日(金)までに学習センター窓口または電話でお申込みください。  
※正式申込み 10月16日(月)までに窓口で手続きをお願いします。

### 【三河台ファミリー教室 後期の活動予定】

期 日	学 習 内 容	指 導 者
11月 5日(日)	親子制作~陶芸~	城戸 栄子 先生
12月 3日(日)	親子制作~粘土細工~	齋藤 裕子 先生
1月14日(日)	親子制作~工作~	土屋 悦男 先生
2月 4日(日)	親子制作~絵画~	齋藤 裕子 先生
3月 3日(日)	親子料理教室~調理実習~	佐藤 正子 先生

## 9月の行事予定

- ◇どじんじま道場  
2日(土) 文化祭の作品制作
- ◇ファミリー教室  
4日(月) 館外学習「十六沼公園」
- ◇寿大学  
20日(水) 「勝口前畑遺跡と福島の歴史」
- ◇女性セミナー  
14日(木) 文化祭の作品制作①  
28日(木) 文化祭の作品制作②
- ◇1UPカレッジ  
17日(日) 未定



## 歴史コラム 連載開始

みなさんは、この三河台地区あるいは、この周辺には、いつ頃から人々が集い始め、住みつづけたのだろうか、そんな疑問をお持ちになったことはないでしょうか。

今月号から、三河台地区にいた「弥生人」のことや、その後の人々の歴史について、(公財)福島市振興公社文化財調査室のご協力で勝口前畑遺跡に関する「コラム」をお届けしていきます。このコラムを通して、縄文時代の福島とは違う、その後の「福島の原風景」をお伝えできたならば幸いです。

## コラム 三河台地区に眠る古代の大集落

今月から、三河台地区の西方に広がる勝口前畑遺跡について紹介していきたいと思ひます。県道310号線、通称「八島田街道」を市街地方面から庭坂方面へ向かう途中、JR奥羽本線と交差して高架となりますが、この北側一帯の宅地や国道13号福島西道路のあたりに、福島市でも有数の古代の大集落である勝口前畑遺跡が広がっています。古の人々はなぜこの地に集落を営んだのでしょうか?理由はその立地にあります。福島盆地は、東端を南北に流れる阿武隈川に向かって、摺上川・松川・荒川などの複数の河川が西から東へ流れており、これら河川の間には、洪水などに直接影響されにくい東西に細長い微高地が残されます。勝口前畑遺跡は北の松川と南の荒川との間の微高地に作られました。また、遺跡の南側は低湿地となり、水田を作るのに好都合でした。さらに、遺跡西側は吾妻山の麓に展開する扇状地の末端にあたり、湧水が豊富でした。現在でも南沢又字大坪に水源地のあとが残されています。勝口前畑遺跡の立地は、農業経営をするのにとても適した環境だったのです。

平成2年から10年にかけて、国道13号整備や区画整理に伴って大規模な発掘調査が行われ、数々の発見がありました。次回から、その内容について紹介していきたいと思ひます。

勝口前畑遺跡周辺地図

